

# お茶会だより 1月号

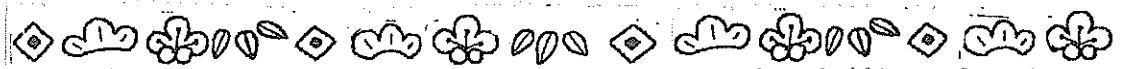
R4.1.27(木)

本来であれば、今月はお茶会参観見で、子ども達のこれまでの元氣張りを  
お見せできるはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、  
参観が中止となり、本当に残念でした。子ども達も、様々な思いが  
あったでしょうが、"お家の人達が見てくれると思って元氣張う!"と  
気持ちをセリ替えて、お稽古に臨みました。

今回は、植田先生もお休みとなりましたが、「子ども達の為に  
床の間に飾ってほしい」と本卯(餅花)を届けてくれました。

その心遣いがとても嬉しく、すぐに子ども達に伝え、「嬉しい」と  
涙をこぼしていた子もいました。心の成長を感じた出来事です。

今月のねらいは「自分で動く。」可なりで「手や足を動かすことが  
一人一人できるように、私達からの言葉かけも減っていることを  
感じました。お茶会も可なりとこああと2回。自信をもって取り組んで  
いけるよう見守っていきたいと思います。



来月は、こあら組への引き継ぎお茶会です。昨年の年長さんや  
自分達のことを思い起こし、張りきっています。

白くつは早めにご持ってきて下さるようお願いいたします。



## 【今月の床の間】



《茶花》「やなぎ餅・松・梅」



《お菓子》「鯛（練切）」

茶花として飾られたのは、“やなぎ餅”という新年を祝う餅飾り。植田先生の思いを受け、園長先生にあいさつや床の間のお話をしていただき、お稽古がスタートしました。

## 【お茶会の様子】

本来のお茶会参観ではなくなったものの、子ども達は気持ちを切り替え、集中力が高まっている様子でした。



お皿に添える手も  
忘れずに…



今月の茶菓子を見て、その可愛らしい姿にみんなの目が釘付け。上品な甘さで「美味しい！」と食べていました。



今までの茶菓子の中で  
一番美味しい！



お菓子をどうぞ

今月、お茶会参観という節目のお茶席は出来ませんでした。来月はこあら組への引き継ぎ茶会。こちらも大きな節目です。自信を持って取り組む姿を、こあら組さんにも見せて欲しいです。